

受験番号

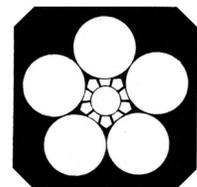
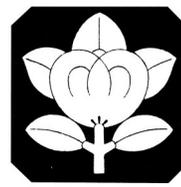
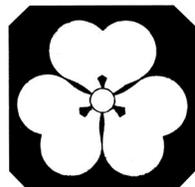
令和6年3月9日  
 一般社団法人 日本和裁士会  
 (所要時間90分)

成績	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	合計	合否判定
	点	点	点	点	点	合・否

1. 次の着装に関する説明文中で、正しいものには○、誤っているものには×を( )の中に記入しなさい。(配点5点)

- ① ( × ) 女物和服の礼装用の帯には、染物が適している。
- ② ( × ) 鮫小紋の着物は、紋を付けても略礼装にはならない。
- ③ ( × ) 女物の羽織・道行コートは、室内では着用しない。
- ④ ( ○ ) 色無地の一ッ紋付は、帯を替えれば、慶弔ともに使用できる。
- ⑤ ( × ) 男子正式礼装は、慶弔ともに同じである。

2. 次の紋の名称を下記の語群から選び( )の中に記入しなさい。(配点10点)  
 また、よみ仮名を《 》の中に記入しなさい。



(五七の桐) (片喰) (違い鷹の羽) (橘) (梅鉢)

《ごしちのきり》 《かたばみ》 《ちがいたかのは》 《たちばな》 《うめばち》

・ 剣片喰	・ 九曜星	・ 五三の桐	・ 木瓜	・ 橘
・ 梅鉢	・ 違い鷹の羽	・ 片喰	・ 蔦	・ 五七の桐

3. 下の表は和服の紋下りを記したものです。表を完成させなさい。《※鯨尺でもcmでもよい》  
 (配点5点)

	本 身	四ッ身	一ッ身
背紋下り (衿付けより)	5.7 cm 1寸5分	4.5 cm 1寸3分	4 cm 1寸
袖紋下り (袖山より)	7.5 cm 2寸	6.5 cm 1寸7分	6 cm 1寸5分
抱き紋下り (肩山より)	1.5 cm 4寸	1.3 cm 3寸5分	1.1 cm 3寸

受験番号

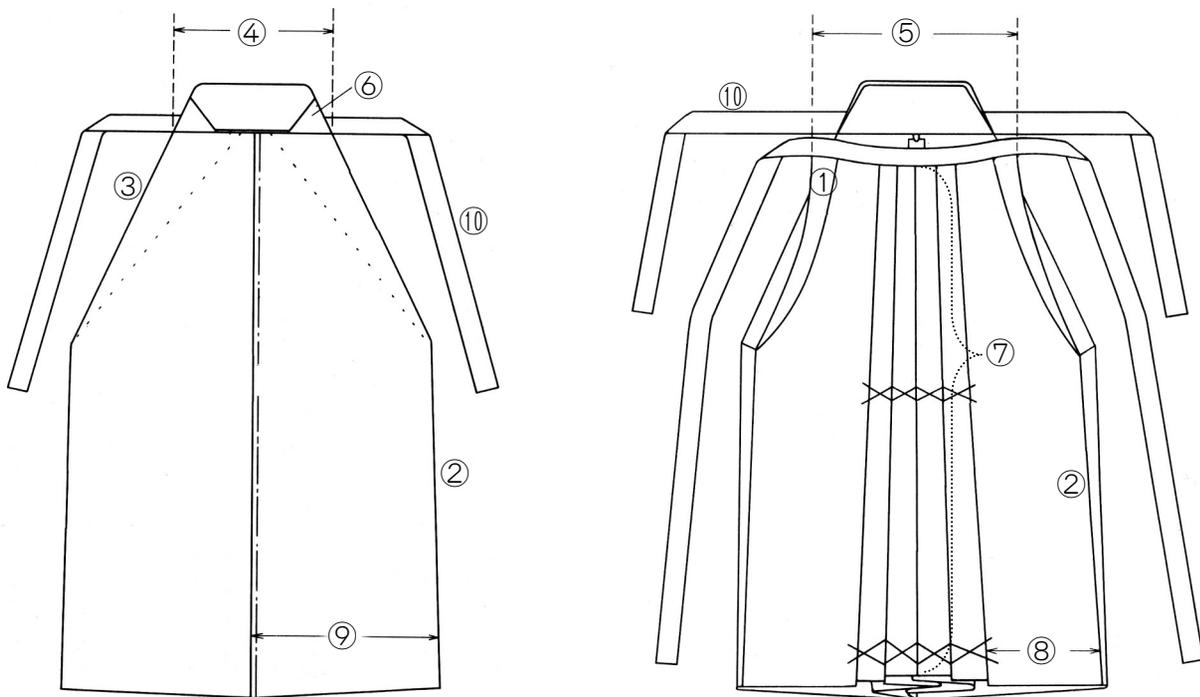
4. 次の説明文の ( ) の中に、適当な語句を記入しなさい。(配点5点) 《※鯨尺でもcmでもよい》

- ①名古屋帯の太鼓の柄は、垂先から柄の中心まで(1尺8寸/68.2cm)にする。
- ②男袴の前紐の丈は、胴まわりの(3.5~4倍)が標準である。
- ③丸帯の帯丈は(4m20cm/1丈1尺)くらいである。
- ④女物着物の身丈は(身長)と同寸である。
- ⑤女物着尺で、掛衿を2本取りする場合、(50cm/1尺3寸2分)余分があれば出来る。

5. 男物袴(馬乗袴)を前から見た場合と、後ろから見た場合の完成図を描き、下記部分がよくわかるよう、それぞれ所定の位置に記号を入れなさい。

(配点 図・10点/名称10点)

- ① 笹ひだ
- ② 相引
- ③ 投げ
- ④ 後腰幅
- ⑤ 前腰幅
- ⑥ 付菱
- ⑦ 紐下
- ⑧ 前脇幅
- ⑨ 後幅
- ⑩ 後紐



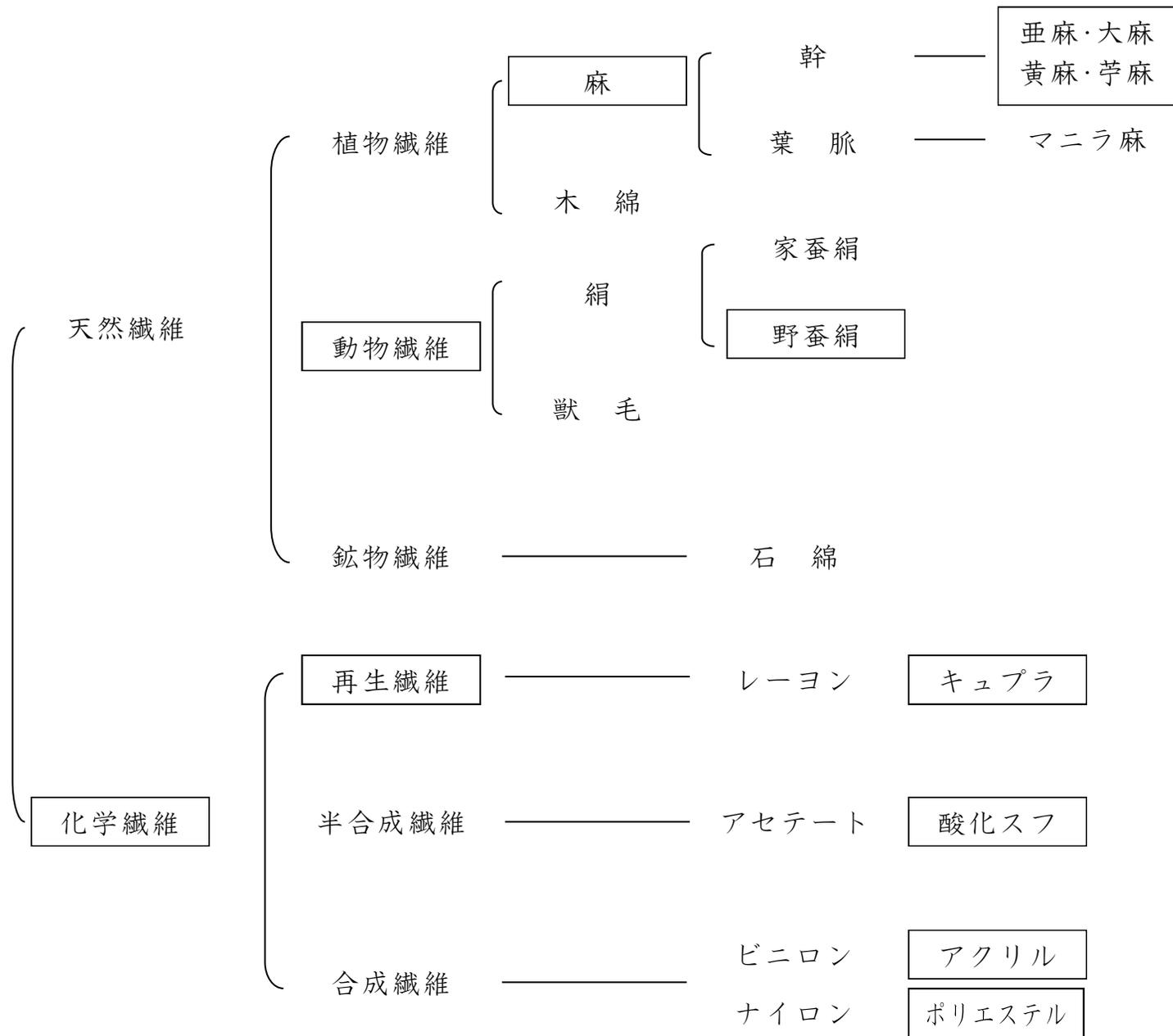
6. 下記の模様の中で語句が正しいものには○を、

誤っているものには×を( )の中に記入しなさい。(配点10点)

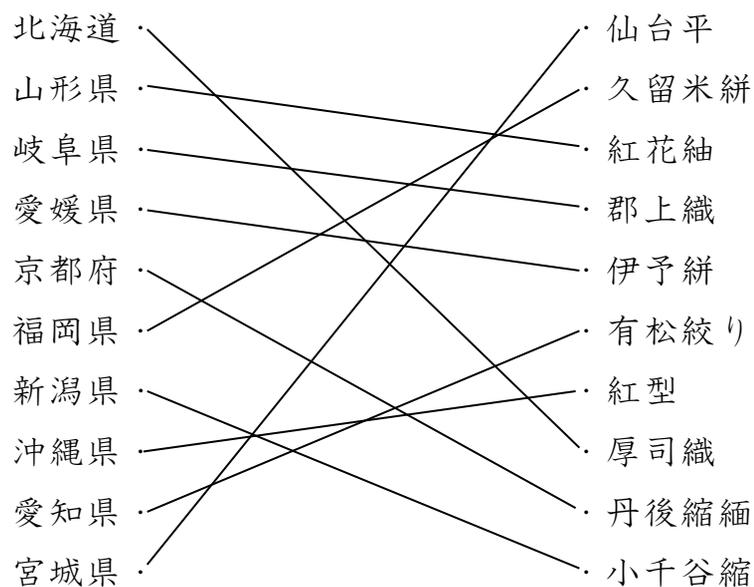
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
麻の葉	市松模様	翁格子	紗綾形	亀甲	矢絰	鱗	滝縞	大名縞	松皮菱
(○)	(×)	(○)	(×)	(×)	(○)	(×)	(○)	(×)	(○)

受験番号

7. 下の表は繊維の分類を示したものです。表を完成させなさい。(配点10点)



8. 下記の織物の産地を線で結びなさい。(配点10点)



受験番号

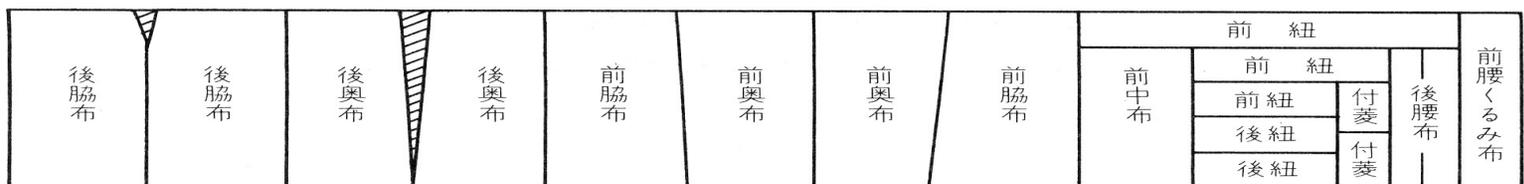
9. 次の5問について、各部分を寸法に応じ配分し、その名称をよく分かるように記入して裁断図を書きなさい。(裁ち切は実線・折り山等は点線で記入)(配点各問5点)

- ①並幅物12m12cm(3丈2尺)の反物で、一ッ紋付本裁女物長着を下記指定寸法で追い裁ちにしたい。裁断図および各部の寸法と名称、紋の位置を記入しなさい。  
 身丈背より出来上がり163cm(4尺3寸)・袖丈出来上がり49.2cm(1尺3寸)  
 繰越2cm(5分)・襟下(衿下)出来上がり81.5cm(2尺1寸5分)・他は標準寸法とする。

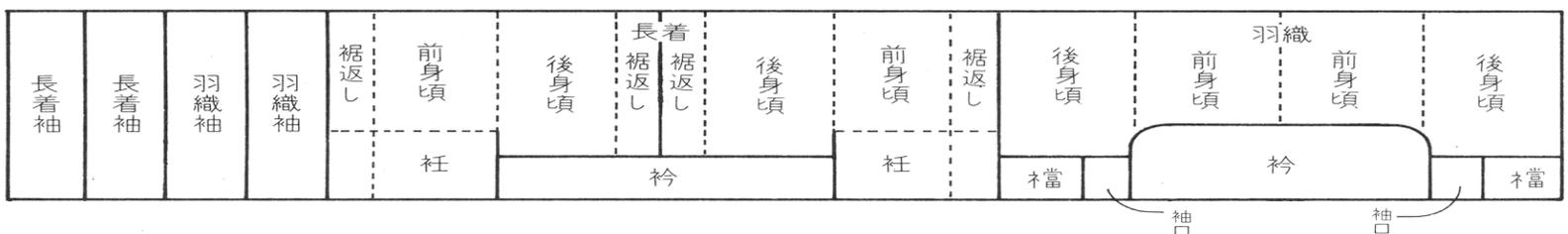
後	前	後	前	後身頃	上前身頃	後身頃	下前身頃	衿 159cm 420	下前衿	衿 159cm 420	上前衿
袖								地衿		上前	
53cm	53cm	53cm	53cm	171cm	171cm	171cm	171cm	共衿	下前	220cm	
140	140	140	140	450	450	450	450	98.5cm		580	

(注) 袖の前後、上前身頃、上前衿、上前共衿、上前衿裾などの位置を明記すること。

- ②並幅物10.2m(2丈7尺)の反物で、男物行燈袴を作りたい。その裁断図を記入しなさい。



- ③並幅物15.2m(4丈)の反物で、四ッ身長着(共裾)と羽織を裁ちたい。その裁断図を記入しなさい。



- ④並幅物11.8m(3丈1尺2寸)の反物で、留袖用比翼を作りたい。その裁断図を記入しなさい。ただし、袖は口・振とし、衿裏共布とする。

裾	裾	裾	裾	衿	地衿	共衿	振	振
				衿	裏衿	袖	袖	
						□	□	

- ⑤大幅物6m(1丈5尺8寸)の反物で、女物長着を作りたい。その裁断図を記入しなさい。

